

兵庫県保険医協会 姫路・西播支部 新規開業医懇談会ご案内

個別指導対策とカルテ記載の留意点

～新規個別指導と最近の審査減点事例を中心に(医科対象)～

兵庫県保険医協会姫路・西播支部長 宗実 琴子

日時 2011年1月20日(木) 午後3時～5時

会場 姫路キャッスルホテル2F松竹の間

(姫路市三左衛門堀西の町210番地 tel079-284-3311、JR姫路駅より徒歩約10分)

講師 協会審査対策部副部長 西山 裕康 先生

参加費 無料 定員 50人

共催 株式会社エムシーシステム(医療機器展示会 併設)

- ・指導が全国的に強化!～厚生局移管後の個別指導の特徴と対策
- ・新規個別指導でも返還!～個別指導の指摘事項および返還項目
- ・指導料等のカルテ記載漏れは致命的!～カルテ記載の留意点
- ・最近の減点事例を具体的に紹介!～審査減点事例を解説

社会保険庁改革によって、2008年10月から指導・監査等の業務が「各都道府県社会保険事務局」から「地方厚生(支)局」に移管されました。これによって指導・監査等の取扱いが全国的に強化・標準化する方向で進められています。

兵庫県でも新規個別指導において、2009年4月以降は、指導の際に持参するカルテ等の患者指定が前日とされ(今年11月からは4日前)、さらに特定疾患療養管理料などの指導内容などカルテ記載不備で算定要件が満たされていないものについては、新規個別指導であっても、返還を求められています。

懇談会では、新規個別指導を中心に厚生局移管後の個別指導の特徴と対策、個別指導の指摘事項および返還項目、カルテ記載上の留意点などについて解説し、協会へ寄せられた具体的な減点事例についても詳しく紹介します(外来中心)。

また、同会場では株式会社エムシーシステムによる電子カルテ、レセプトコンピュータの展示会(11時～20時まで)を開催いたします。

新規開業の先生はもちろん、審査・指導問題にご関心のある先生、電子カルテ導入をご検討の先生はぜひご参加ください。 お問い合わせ先:TEL:078-393-1807(事務局・小西)まで

姫路・西播支部 新規開業医懇談会(1/20)参加申込書 **FAX 078-393-1802**

市町名() 医療機関名()

お名前()

電話番号() FAX番号()

兵庫県保険医協会 姫路・西播支部ニュース

No.169 2011年1月5日発行



発行 兵庫県保険医協会姫路・西播支部 支部長 宗実琴子
連絡先 〒650-0024 神戸市中央区海岸通1-2-31 神戸フコク生命海岸通ビル5F
兵庫県保険医協会 TEL/078-393-1807 FAX/078-393-1802

新年のごあいさつ

姫路・西播支部支部長 宗実 琴子



謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

国民は期待をもって政権交代後の民主党の政策と動向を注目してきましたが、鳩山政権から菅政権になり、自民党への回帰から、それ以上の悪政へと変わり、今や内閣支持率は危険水域の20%台まで急落しています。

後期高齢者医療制度は「速やかに廃止」の公約を実行しないばかりか、発表された新高齢者医療制度の最終とりまとめでは、高齢者を別枠にし高齢者の医療費が増えれば保険料が上がる根幹部分を引き継ぎ、これまで以上の負担増を強いるもので、現行より一層悪いものになります。今年早々の通常国会では、この新高齢者医療制度をはじめ、国保、介護保険、障害者自立支援法など社会保障分野の改悪法案提案が目白押しと見えます。これらの改悪を許さないとりくみが重要になっています。

姫路・西播支部は、会員医療機関・家族サービスとして文化企画にも力を入れています。昨年、恒例のバスツアー(京都の寺田屋、萬福寺等)に加え、新しく「そば打ち体験in姫路」を行い、いずれも好評を得ました。

また、他科を知る会、医療安全管理研修会、地域医療を考える会なども開きました。

このほか、「保険でより良い歯科医療の実現の意見書採択を求める」請願を行い、たつの市、上郡町で採択されました。また西播社保協とともに、国保改善などの要求実現を求めて、西播5市6町を訪問する自治体キャラバンを実施しました。

支部では、会員各位のご意見をお聞きしながら、今年も様々な企画を行う予定です。本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。



第27回地域医療を考える懇談会を姫路市で開催

職種を超えて患者サポートを



話題提供する(左上から時計回りに)石橋先生、津田先生、大頭先生、田中氏、嶋氏

姫路・西播支部と協会地域医療部は12月4日、第27回地域医療を考える懇談会を姫路市商工会議所で開催した。

「在宅における多職種連携を考える」というテーマで、医師・歯科医師・スタッフ・介護職員ら63人が参加。だ

いとう循環器クリニック院長の大頭信義先生、石橋内科広畑センチュリー病院理事長の石橋悦次先生、つだ歯科医院院長の津田賢治先生、訪問看護師の田中美佐子氏、ケアマネジャーの嶋美穂氏が話題提供した後、会場内で意見交換を行った。

大頭先生は、末期がん患者の在宅療養支援について、ホームヘルパーと訪問看護師の力

が欠かせないと強調。また往診を行う医療機関を増やすためにネットワークづくりが大切と述べ、岸和田など実際の例を紹介した。

石橋先生は、急性期のDPC病院から患者を引き受け、退院後自宅へ送っている広畑センチュリー病院と石橋内科の入院紹介元や退院経過を紹介し、開業医やケアマネジャーを通し、緊急時に在宅患者を急性期・療養型の病院へ送れる体制が重要と強調。施設・開業医・病院での患者情報の共有化が必要と述べた。

津田先生は、歯科の立場から、在宅で歯科が果たす役割として、口腔ケアと食支援があると紹介し、在宅患者にはまだまだ歯科治療の重要性が知られず、口腔ケアをあきらめてしまっている方が多数いると、歯科往診の重要性を強調した。

田中氏は、多職種連携がうまくいった例として、54人が関わる人工呼吸器装着ALS療養者の事例を紹介。「患者さんのそばにゆっくりいられる」と考え訪問看護師になったが、多忙でそれどころではないと、訪問看護の実態についても述べた。

(3面につづく)



63人が参加し、話題提供に聞き入った

(2面つづき)

嶋氏は、看護師やかかりつけ医と連携し、褥瘡が改善された例を紹介。また、経済的困難で介護保険料を滞納していたため、すぐには介護保険を使えないという問題点についても指摘した。

その後、清水映二副支部長の進行で、意見交換がなされた。姫路市医師会での連携の取り組みが、田中明先生から紹介されたほか、認知症患者への対応、医療の知識が少ない介護職員との連携の必要性などについて、議論が交わされた。

最後に、林田英隆地域医療部長が「今日のような懇談会を通し、連携を進めていかなければいけない」とあいさつし、会を締めくくった。



会場からも多数の発言があった

第78回評議員会 河原評議員が発言

“バスツアーが支部に定着”

協会は、11月14日に第78回評議員会を開催した。姫路・西播支部からは、河原幸義評議員(相生市)が「バスツアーの取り組み、地域医療を考える懇談会案内」について発言した。他に、清水映二理事(たつの市)が研究部から「第19日常診療経験交流会のまとめと第20回に向けての協力をお願い」について、白岩一心評議員代理(赤穂郡)が歯科部会から『「保険でより良い歯科医療を」兵庫連絡会のこれまでの活動を振り返って』について、それぞれ発言した。河原評議員の発言要旨を掲載する。

姫路・西播支部では、1992年以来バスツアーを行っている。今年、17回目のバスツアーを来週11月22日に実施する。案内してから1週間で満席になるほど好評で、12医療機関54人という過去最高の申込となった。今年ほど募集が楽だった年は初めて。

NHK大河ドラマ「龍馬伝」で人気の「寺田屋」訪問に始まり、「明星山 三室戸寺」で紅葉狩り、「黄檗山萬福寺」を訪ねて昼食、宇治の「福壽園宇治工房」で抹茶白挽き体験を行う予定。

バスツアーは、職員の福利厚生、家族サービスの機会として定着している。今後も継続して開催していきたい。

また、12月4日には「地域医療を考える懇談会」を姫路市で開催する。「在宅医療における多職種連携を考える」というテーマで病診連携、医科歯科連携、多職種連携など、さまざまな立場から意見を出しあえる会としたいと考えているので、他支部からもぜひ多数ご参加いただきたい。



発言する河原先生